

- 問1 日本における男女平等に関する法令のあゆみをまとめた年表において、1985年の男女雇用機会均等法の制定に続き、1999年に制定された法律があります。男女が互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮できる社会を目指すことを理念として定められたこの法律は何ですか。 (2015年 鳥取県公立入試 類似)
1. 育児・介護休業法 2. 男女雇用機会均等法 3. 男女共同参画社会基本法 4. 女子差別撤廃条約
- 問2 地域の清掃活動の進め方について、住民の間で話し合いが行われています。このとき、「公正」の視点に基づいた意見として、最もふさわしいものはどれですか。 (2024年 兵庫県公立入試 類似)
1. 道具の準備にかかる費用を節約するために、各自が自宅から掃除道具を持ってくるべきだ。 2. 高齢者や体の不自由な人が無理をしないよう、それぞれの事情に合わせ役割を分担すべきだ。 3. 清掃を短時間で終わらせるために、最も人数の多い班に広い範囲を割り当てべきだ。 4. 最も効率よくゴミを集めるために、人通りの多い大通りだけを集中的に清掃すべきだ。
- 問3 社会生活において、人々の意見の違いや利害のぶつかり合い（対立）が生じた際、話し合いを通じて全員が納得できる解決策（合意）を導き出すための判断基準があります。そのうち、「時間・労力・費用などを無駄にせず、より大きな成果を得られるようにすること」を「効率」と呼ぶのに対し、「手続きが正しく行われ、特定の人だけが不当に不利な扱いを受けないようにすること」を何と呼びますか。 (2024年 兵庫県公立入試 類似)
1. 公正 2. 妥協 3. 多数決 4. 独断
- 問4 民主主義における意思決定では、単に最も票を集めた案を選ぶだけでなく、より多くの人が納得できる結論を導き出す工夫がなされることがあります。あるクラスの出し物投票で、第1希望の投票だけでは過半数に達しなかったため、下位の選択肢に投票した人の「第2希望」を上位の選択肢に加算して再集計する方法をとりました。このような仕組みを用いる最大の目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. 少数の意見を完全に排除し、効率的に会議を進行させるため 2. 投票にかかる時間を短縮し、何度もやり直す手間を省くため 3. 単なる多数決よりも、集団内でのより広い合意を得やすくするため 4. 第1希望で最も票を集めた案が、必ず選ばれるように保証するため
- 問5 2010年の日本の人口動態を1970年と比較すると、0歳から14歳の人口が明らかに縮小しており、2025年には経済活動の主役となる年齢層も2010年より減少すると予測されています。この動態に関する記述として正しい組み合わせを選びなさい。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. この現象は食糧危機と呼ばれ、2025年に減少が予測されている15歳以上65歳未満の層は老年人口と呼ばれる。 2. この現象はドーナツ化現象と呼ばれ、2025年に減少が予測されている15歳以上65歳未満の層は非労働力人口と呼ばれる。 3. この現象は少子高齢化と呼ばれ、2025年に減少が予測されている15歳以上65歳未満の層は生産年齢人口と呼ばれる。 4. この現象は過疎化と呼ばれ、2025年に減少が予測されている15歳以上65歳未満の層は年少人口と呼ばれる。
- 問6 「鉄道利用者の増加に向けて」という課題のもと、誰もが利用しやすい駅づくりを目指す具体的な施策を検討した際、駅の時刻表や案内板に英語や中国語を併記する「多言語表記」を導入することが提案されました。この施策を導入する背景や目的として最も適切な説明はどれですか。 (2017年 岡山県公立入試 類似)
1. 特急列車の増発や運行速度の向上を行い、主要都市間の移動時間を短縮することでビジネス客の利便性を高めるため 2. 自動改札機の設置を全面的に進めることで、駅員の業務負担を軽減し、鉄道運営の効率化とコスト削減を図るため 3. 訪日外国人観光客が言葉の不自由を感じることなく、目的地へスムーズに移動できる安心な環境を整備するため 4. 駅周辺の再開発を行い、大型の商業施設を誘致することで、地域住民の買い物における利便性を向上させるため
- 問7 インターネット上のSNSなどで、自分の作品や意見を自由に発信できるという利便性がある一方で、他人の私生活に関する情報を本人の同意なく掲載すると、ある権利を侵害することになります。この権利の性質として最も適切な説明を選びなさい。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
1. 著作物を作成した者が、その作品から生じる利益を独占的に受け取ることができる権利 2. 個人の私生活を守るために、自分の情報を他人に勝手に公開させないよう主張できる権利 3. 国や地方公共団体が持っている公的な情報を、国民が手に入れることができる権利 4. 自分の考えや思想を、干渉を受けることなく外部に対して自由に表明できる権利
- 問8 インターネットを通じた買い物の普及やオンライン会議の実施、SNSによる個人からの情報発信など、現代社会で見られる具体的な社会現象の背景にある仕組みを説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
1. 出生率が低下して子供の数が減少し、全人口に占める高齢者の割合が急速に高まった。 2. 国境を越えた人やモノ、資金の移動が活発になり、世界が政治・経済的に一体化する動きが進んだ。 3. 工業化が進んだことで大量生産・大量消費が一般的になり、人々の生活水準が平均化した。 4. 情報の収集や発信が容易になり、社会のあらゆる場面で情報の価値が大きな役割を果たすようになった。
- 問9 現代社会において、人、もの、お金、情報などが国境を越えて地球規模で活発に行き交い、世界の一体化が進む現象を何と呼びますか。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 少子高齢化 2. 多文化共生 3. グローバル化 4. 情報化
- 問10 インターネットやテレビ、新聞などから発信される膨大な情報を、そのまま受け取るのではなく、主体的に内容を読み解き、その真偽を的確に判断して活用する能力を何といいますか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. リコール 2. インフォームド・コンセント 3. マニフェスト 4. メディアリテラシー
- 問11 科学技術の発展に伴い導入が進められているオンライン診療について、高齢者の生活実態と関連付けた説明として最も適切なものはどれですか。2017年の統計において、高齢になるほど通院に家族の送迎や公共交通機関を利用する割合が高まること、および70歳以上のインターネット利用率が他の世代より顕著に低いことをふまえて答えなさい。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 診察にかかる時間が短縮されるという利点がある一方で、高齢者のインターネット利用率が若年層よりも極めて高いため、回線が混雑して接続できなくなるといった課題がある。 2. 都市部への通院が容易になるという利点がある一方で、公共交通機関の運賃がオンライン通信費よりも安価であるため、経済的な負担が増大するという課題がある。 3. 薬の処方が自動化されるという利点がある一方で、通信機器を使用することで家族による送迎の機会が失われ、高齢者の孤立が進むという課題がある。 4. 通院のための移動が不要になるという利点がある一方で、操作を行う高齢者自身のインターネット利用率が低いため、機器の使用を補助する支援が必要になるといった課題がある。
- 問12 1948年に国際連合総会で採択された、「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である」という趣旨の一文で始まる、国際的な人権保障の基本となっている文書を選びなさい。 (2024年 山口県公立入試 類似)
1. 国際人権規約 2. 世界人権宣言 3. 日本国憲法 4. 児童の権利に関する条約

答え合わせ・解説

問1	答え 3 男女共同参画社会基本法	1999年に制定されたこの法律は、家庭、地域、職場など社会のあらゆる活動に男女が対等な立場で参画できる社会（男女共同参画社会）の実現を目指しています。1985年の男女雇用機会均等法が主に雇用分野に焦点を当てているのに対し、この基本法は社会全体を対象とした包括的な理念を掲げている点が特徴です。
問2	答え 2 高齢者や体の不自由な人が無理をしないよう、それぞれの事情に合わせて役割を分担すべきだ。	「公正」には、結果の公正だけでなく、個々の状況に応じた配慮が含まれます。一律の負担を強いるのではなく、個別の事情を考慮して不当な扱いを受けないように調整することは、公正の視点に基づいた合意形成の重要なプロセスです。他の選択肢は、時間短縮や費用削減といった「効率」の視点に偏った考え方といえます。
問3	答え 1 公正	社会的な決定を行う際には、限られた資源や時間を有効に使う「効率」の視点と、参加者の権利を尊重し手続きや結果に偏りがないようにする「公正」の視点の両立が求められます。公正には、決定に至るまでの過程がオープンである「手続きの公正」や、負担や利益の分け方が妥当である「結果の公正」などの考え方が含まれます。
問4	答え 3 単なる多数決よりも、集団内でのより広い合意を得やすくするため	民主主義の意思決定においては、少数の意見も尊重しつつ、できるだけ多くの人が賛成できる結論（合意）を目指すことが重要です。第1希望で過半数に届かない場合、その案は「過半数の人が第一に望んでいるわけではない」状態です。そこで第2希望以降を考慮に入れることで、集団全体にとって「次善の策」として受け入れられる案を見つけ出し、納得感を高めることができます。
問5	答え 3 この現象は少子高齢化と呼ばれ、2025年に減少が予測されている15歳以上65歳未満の層は生産年齢人口と呼ばれる。	日本の人口構造は、子供の数が減り高齢層が厚くなる「少子高齢化」が特徴です。1970年には子供の割合が一定数いる「つりがね型」でしたが、2010年には若年層が細い「つぼ型」になっています。この影響で、実際に仕事に従事して経済を支える中心的な年齢区分（15歳以上65歳未満）である「生産年齢人口」が、将来的に大幅に減少していくことが確実視されています。
問6	答え 3 訪日外国人観光客が言葉の不自由を感じることなく、目的地へスムーズに移動できる安心な環境を整備するため	現代の共生社会においては、文化や言語の異なる人々が互いに尊重し合いながら生活することが求められています。多言語表記は、増加する外国人観光客が日本語を理解できなくても、案内板を通じて自ら適切な判断を行い、安全に施設を利用できるようにすることを目的としています。これは「誰もが使いやすい」というユニバーサルデザインの視点に基づいた、共生社会実現のための重要なインフラ整備です。他の選択肢にある効率化や速度向上は、特定の利便性は高めますが、多言語表記が直接解決を目指す「言葉の壁」への対策ではありません。
問7	答え 2 個人の私生活を守るために、自分の情報を他人に勝手に公開させないよう主張できる権利	情報化社会においては、個人の写真や住所などの情報を誰でも簡単に発信できるようになったため、他人の私生活を守る意識が重要視されています。本人の許可なく個人を特定できる情報をインターネット上に公開する行為は、人格を尊重する立場から認められているこの権利の侵害にあたる可能性があります。
問8	答え 4 情報の収集や発信が容易になり、社会のあらゆる場面で情報の価値が大きな役割を果たすようになった。	提示された「買い物の変化」「オンライン会議」「SNSでの課題」といった現象は、すべて情報通信技術（ICT）の進歩がもたらしたものです。このように情報の価値が高まり、社会に大きな影響を与えるようになる変化を情報化と呼び、単に便利な道具が増えたことだけでなく、社会構造そのものが変化している点に特徴があります。
問9	答え 3 グローバル化	交通網やインターネットなどの通信技術が発達したことで、人や物、資金、情報が国境を意識せず移動するようになりました。この世界規模でのつながりの強まりを「グローバル化」と呼びます。似た用語に「情報化」がありますが、これは情報の価値が高まり情報技術が広まることを指すため、区別が必要です。
問10	答え 4 メディアリテラシー	情報化が進む現代社会では、発信される情報を鵜呑みにするのではなく、多角的な視点から批判的に吟味し、取捨選択する姿勢が重要になります。このような能力はメディアリテラシーと呼ばれ、民主主義社会を支える市民に不可欠な資質の一つとされています。選択肢にある「インフォームド・コンセント」は医療現場での説明と同意、「リコール」は解職請求、「マニフェスト」は政権公約を指す言葉です。
問11	答え 4 通院のための移動が不要になるという利点がある一方で、操作を行う高齢者自身のインターネット利用率が低いため、機器の使用を補助する支援が必要になるという課題がある。	高齢者は年齢が上がるにつれて自家用車の運転を控え、家族の送迎や公共交通機関に頼る傾向があります。オンライン診療は通信機器を通じて診察を行うため、こうした移動の負担をなくす大きなメリットがあります。しかし、高齢層のインターネット利用率は若年層と比較して大幅に低いため、操作方法を教えたり診察をサポートしたりする看護師などの訪問支援が、普及に向けた重要な要素となります。
問12	答え 2 世界人権宣言	第二次世界大戦における凄惨な人権侵害への反省から、1948年に国際連合で採択されました。すべての人間が生まれながらにして自由であり、尊厳と権利について平等であることを示しており、現在の人権保障の最も基本的な指針となっています。あくまで「宣言」であるため、採択当時は各国を法的に拘束する力はありませんでしたが、後の国際人権規約などの条約へとつながる重要な役割を果たしました。